



ほほえみ

令和3年度 No.16

令和4年1月7日

校長 黒澤 英樹

新年あけましておめでとうございます

新年、あけましておめでとうございます。2週間の冬休みが終わり、今日から3学期がスタートしました。コロナ禍とはいえ少し感染が収まってくれたので、昨年よりも、親戚との集まりやお出かけなどができたのではないかと思います。また、大きな事故等の連絡もなく、保護者の皆様には大変お世話になりました。

さて、今年は寅年ということですが、虎は神経質で孤独、ひとり悠々としながら、事あれば獰猛な性格ということですが、繁殖力が弱く、子どもが少ないのだそうです。だから愛児性が強く、“虎の子”として大切に育てるのだと聞きました。

考えてみれば、人間の世界も虎と同様で、少子化が進み、一人一人の子どもがとても大切な時代に入っています。また、今後の高齢化時代、日本を支えてくれるのは、目の前にいる子どもたちなのです。虎にあやかり、今年も、“虎の子”の子どもたちがしっかりと成長できるように取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、今年も大変お世話になりますが、よろしくお願い致します。



始業式を行いました

本日、放送で始業式をおこないました。3学期は短く、6年生は51日間、5年生以下は52日間の登校となるかと思います。短い3学期ですが、充実した日々となるように、以下の3点について話しました。

- 3学期の夢や目標をもちましよう。結果を気にせず、「自分はこうなりたい」「こうしたい」と思うことが大切です。
- 挨拶を頑張りましよう。挨拶ができていないという場面があるならば、その悪い習慣を断ち切りましよう。
- 基本的な感染対策をしっかりとしましよう。感染した人が出たとしても、責めることは絶対にいけません。

併せて、1日に行われた実業団駅伝でスバルが準優勝となったことと関連付けて、「失敗は成功のもと」のことわざについて話しました。

3学期の行事について

コロナ禍ではありますが、今のところ、3学期の大きな行事として校内音楽発表会（2月18日（金））と卒業式（3月24日（木））を予定し、できるだけ密にならない状況で行えるように計画を進めています。

ただし、コロナの感染状況によっては、内容や取り組み方の変更ということもありますので、ご承知おきください。詳細は、行事が近づいてきましたら、お知らせ致します。

